

# ASAHI V バルブ取扱い使用上の注意

この注意事項は、ASAHI Vバルブを安全にご使用頂くための一般的な注意事項を記載しています。

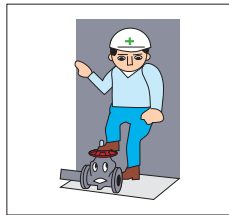
製品毎の注意事項につきましては、別途、取扱説明書を取り揃えております。詳しくは最寄りの販売代理店、弊社営業所までお問合せください。

## 1 配管設計時の注意

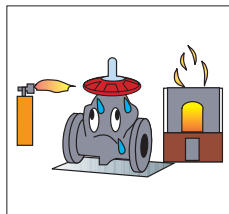
- 使用温度及び使用圧力は許容範囲内でご使用ください。  
(最高許容圧力は水撃圧を含んだ圧力です。許容範囲外で使用されますとバルブが破損する恐れがあります)
- 適切な材質を選定してご使用ください。(薬液の種類によって部品が侵され破損する恐れがあります。詳細については、最寄の営業所へ事前にご相談ください。)
- 結晶性流体を含んだ流体では再結晶しない条件でご使用ください。(バルブが正常に作動しなくなります)
- スラリーを含んだ流体にご使用の際には弊社へご相談ください。
- 本製品は非防爆品ですので、爆発性雰囲気中では使用しないでください。(破損・爆発する恐れがあります)
- 自動弁エア式の操作圧力について:エア式の操作圧力は、0.4MPa(4.1kgf/cm<sup>2</sup>)を基準としておりますが、操作圧力を上げる場合は操作圧力範囲内でご使用ください。
- 材質の異なるプラスチック製品を「接着」「融着」しないでください。(接合不良となります。)

## 2 受取り・運搬・保管時の注意

- バルブに乗ったり重量物を乗せたりしないでください。(破損する恐れがあります)



- 火気・高温な物体に接近させないでください。(変形・破損・火災する恐れがあります)



- 直射日光を避け、屋内に保管してください。又、高温になる場所での保管も避けてください。(変形する恐れがあります)

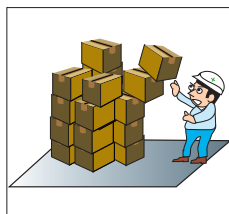


- 投げ出し・落下・打撃等による衝撃を与えないでください。(損傷や破損の恐れがあります)

- 鋭利な物体(ナイフ・手掛など)で引っかき・突き刺しなどをしないでください。



- ダンボール梱包は、荷崩れしないように無理な積み重ねをしないでください。



- コーラタール・クレオソート(木材用防腐剤)・白あり駆除剤・殺虫剤・塗料などに接触させないでください。(膨潤により破損する恐れがあります)

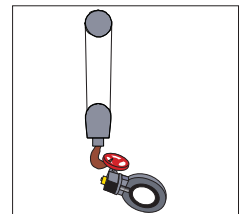


- バルブの吊り下げ・玉掛けは、安全に配慮して吊り荷の下に立たないでください。

- 配管直前までダンボールに入れたまま、直射日光を避け、屋内(室温)で保管してください。又、高温になる場所での保管も避けてください。(ダンボール梱包は、水などに濡れると強度が低下します。保管・取扱いには十分ご注意ください)



- バルブを運搬する場合、ハンドル掛けはしないでください。



- 開梱後、製品に異常がないか、また仕様と合致しているかを確認ください。



### 3 配管試運転時の注意事項

#### 1) 一般的注意

- 保守点検が出来るスペースは十分確保してください。
- 完成品検査は水圧によるテストにて行ってください。(エア「気体」による気密試験は大変危険です)
- 弊社樹脂製配管材料に陽圧の気体をご使用される場合は、水圧と同値であっても圧縮性流体特有の反発力により危険な状態が想定されますので、管を保護資材で被覆する等周辺への安全対策を必ず施してご使用ください。尚、ご不明な点はお手数ですが弊社窓口へお問い合わせください。

配管施工完了後、管路の漏れ試験を行う場合、水圧にて確認してください。止むを得ず気体にて試験を行う場合、最寄りの営業所へ事前にご相談ください。

- 常時、水・粉じんなどが飛び散る場所及び直射日光のあたる場所は避けるか、又は全体を覆うカバー等を設けてください。(バルブが正常に作動しなくなる恐れがあります)



- 雰囲気の良い環境で使用される場合は、保護用のポリ袋にてバルブ全体を覆うことをお勧めします。特に、自動駆動部はさび等により作動不良を引き起こす場合があります。
- Uバンドなどで配管サポートをとられる際は、締め過ぎないでください。(破損する恐れがあります)
- 使用する機械工具及び電動工具は、始業前に必ず安全点検を行なってください。

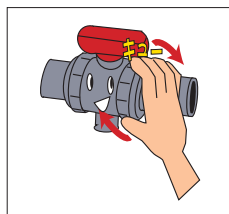
- 配管施工する際は、作業内容に応じた適切な保護具を着用してください。(ケガをする恐れがあります)



- 取付けの際は配管及びバルブ等に引張り、圧縮、曲げ、衝撃等の無理な応力が加わらないように設定してください。
- バルブの取替えや部品交換の際には、配管内の圧力をゼロにして、流体を完全に抜いてください。

#### 2) 自在型接続の注意

- 配管施工時または分解組立の際は、ボディキャップを固定させて作業を行ってください。
- 通水試験前は、必ずキャップナットが十分に締まっているか確認ください。

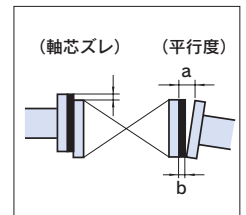


- 軸芯ズレ・面間寸法に注意してキャップナットを締付けてください。
- 金属配管へ樹脂バルブを接続する際は、樹脂バルブに配管応力が加わらないようご注意ください。
- キャップナットは締めすぎないでください。(破損する恐れがあります)

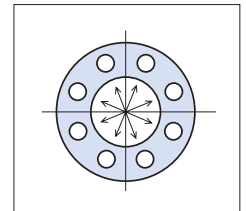
#### 3) フランジ接続の注意

- フランジ面の平行度並びに軸芯ズレの寸法は下記の数値以下にしてください。(配管に応力が加わり破損する恐れがあります)

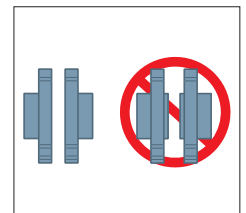
呼び径mm	軸芯ズレ	平行度(a-b)
40~80	1.0mm	0.8mm
100~150	1.0mm	1.0mm
200~600	1.5mm	1.0mm



- 接続フランジのボルト・ナットは対角線上に規定トルクで締付けてください。(漏れや破損する恐れがあります)



- 接続フランジは全面座のものを使用してください。

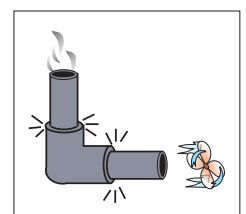


- 相互のフランジ規格に違いがないように確認してください。
- 必ずシール用ガスケット (AVパッキン)、ボルト・ナット、ワッシャを使用し所定の締付トルク値で締め付けてください。(パタフライバルブは除く)

#### 4) ソケット (接着) 接続の注意

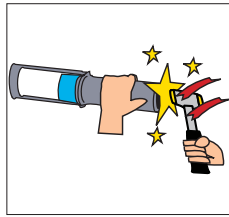
- 低温下での施工は、溶剤蒸気が蒸発しにくく残存しやすくなるため、注意が必要です。(ソルベントクラックが発生し破損する恐れがあります) 配管後は、管の両端を開放するとともに、送風機 (低圧仕様のもの) などで通風することにより、溶剤蒸気を除去してください。

- 接着剤は必要以上に塗らないでください。(ソルベントクラックが発生し破損する恐れがあります)

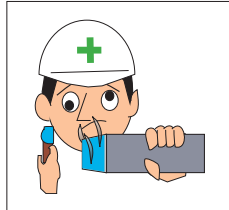


### ▶3 配管試運転時の注意事項

- 管が破損する恐れがあるため、叩き込みによる挿入は絶対にしないでください。



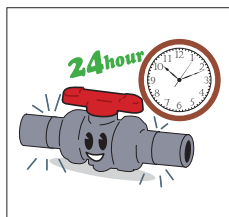
- 接着剤使用時は換気を十分に行い、周囲での火気の使用を禁止すると共に直接臭気を吸わないでください。



- 接着剤が皮膚に付着した時は、速やかに落とししてください。また気分が悪くなったり異常を感じた時は、速やかに医師の診断を受け、適切な処置をしてください。

- 接着剤はAV接着剤を使用してください。(U-PVC製用はASAHI AV接着剤No.32、No.52、No.62を、C-PVC製用はASAHI AV接着剤No.88をご使用ください)

- 通水試験は、接着完了後24時間以上経過してから行なってください。



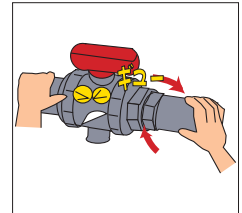
### 5) ねじ込み接続の注意

- 接合部のねじが樹脂製であることを確かめてください。(金属ねじとの配管ではボディキャップが破損する恐れがあります)

- 弊社樹脂製配管材料のねじ接合部には、シールテープをご使用ください。液状シール剤及び液状ガスケットを使用した場合、ストレスクラック(環境応力割れ)を起こす可能性があります。

- 接合部のねじは締め過ぎないでください。(破損する恐れがあります)

- ※ソケット(融着)接続の注意については、別途、製品毎の取扱説明書をご参照ください。詳しくは、最寄りの販売代理店・弊社営業所までお問合せください。

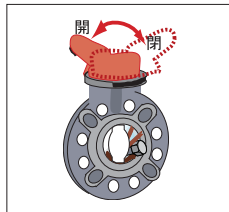


### 6) エア式ダイヤフラムバルブ

- ダイヤフラムバルブ用アクチュエータは、ダイヤフラムの上下作動を可能にするために、余剰エアが吸排気する穴(吸排気穴)を設けています。(作動状況によりダイヤフラムが万が一破損した場合、使用流体が吸排気穴より噴出する可能性がありますのでご注意ください。)

## 4 運転・維持管理時の注意事項

- 流体にゴミなどの異物の混入した状態でバルブを開閉しないでください。



- 定期的なメンテナンスを行なってください。(長期保管・休転時または使用中の温度変化や経時変化により漏れが発生する場合があります。点検項目については、別途、製品毎の取扱説明書をご参照ください。詳しくは、最寄りの販売代理店、弊社営業所までお問合せください。)

- バルブの取替えや部品交換の際には、配管内の流体を完全に抜いてください。又、流体が抜けない場合は、流体の圧力をゼロにしてください。

- 凍結によりバルブ本体等が破損する恐れがあります。凍結が発生する環境下においては、内部の水を取り除くか、もしくは保温材料で凍結対策を実施してください。

- ウォーターハンマーを低減するために、バルブのハンドル、レバーはゆっくり操作してください。

- 廃棄する場合は必ず廃棄専門業者に渡してください。